



2022年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年9月10日

上場会社名 オース株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9637 URL <https://www.osgroup.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 高橋 秀一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 矢崎 秀成 (TEL) 06-6361-3554
 四半期報告書提出予定日 2021年9月13日 配当支払開始予定日 2021年10月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年1月期第2四半期の連結業績(2021年2月1日~2021年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年1月期第2四半期	2,564	19.6	24	—	△1	—	30	—
2021年1月期第2四半期	2,143	△51.2	△116	—	△140	—	△147	—

(注) 包括利益 2022年1月期第2四半期 33百万円(—%) 2021年1月期第2四半期 △190百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年1月期第2四半期	9.56	—
2021年1月期第2四半期	△46.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年1月期第2四半期	30,126	10,349	34.4
2021年1月期	28,747	10,342	36.0

(参考) 自己資本 2022年1月期第2四半期 10,349百万円 2021年1月期 10,342百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年1月期	—	12.50	—	12.50	25.00
2022年1月期	—	12.50	—	—	—
2022年1月期(予想)	—	—	—	12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年1月期の連結業績予想(2021年2月1日~2022年1月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,450	5.3	160	47.4	80	122.6	360	—	113.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(注) 特定子会社の異動には該当していませんが、当社の連結子会社でありましたOSフードサービス株式会社は、2021年5月7日付で清算終了したため、当第2四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2022年1月期2Q	3,200,000株	2021年1月期	3,200,000株
② 期末自己株式数	2022年1月期2Q	24,758株	2021年1月期	29,162株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2022年1月期2Q	3,172,739株	2021年1月期2Q	3,168,034株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項については、添付資料2ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の当社グループは、新型コロナウイルスの感染拡大が依然として収まらず、緊急事態宣言とまん延防止等重点措置が断続的に発令され、先行き不透明な状況が継続いたしました。

このような状況のなか、当社グループにおきましては、感染防止対策を重点的に講じつつ、安心・安全な営業に努めてまいりました。

また、中期経営計画（2019年3月15日発表）で掲げた重点施策のひとつである「グループ会社を含めた抜本的な組織・人事戦略の改革」の一環として、本年2月1日付で組織再編を行い、コロナ禍における事業間連携と効率化の推進に注力いたしました。

当第2四半期連結累計期間の成績は、売上高は2,564,309千円と前年同期に比べ420,883千円（19.6%）の増収となり、営業利益は24,643千円（前期は116,837千円の営業損失）、経常損失は1,232千円（前期は140,496千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は30,340千円（前期は147,220千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

経営成績をセグメント別で見ると次のとおりであります。なお、組織再編による報告セグメントの区分方法の変更については「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記」の「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」をご参照ください。

(エンタメ・サービス事業)

映画事業におきましては、「シン・エヴァンゲリオン劇場版」「花束みたいな恋をした」「名探偵コナン 緋色の弾丸」などの話題作を上映し、公開作品の延期が相次いだ前期に比べ売上高は上回ったものの、休業要請や時短営業等により、コロナ以前の成績を残すには至りませんでした。

飲食事業及びアミューズメント事業におきましては、本年4月末に阪急神戸三宮駅の商業施設「EKIZO（エキゾ）神戸三宮」に、ビアホール「BEER&GRILL コウベビアハウゼ」及びアミューズメント施設「namco三宮OS」を開業いたしました。休業要請や酒類提供禁止等により開業後も通常営業ができないなか、比較的健闘しております。

以上の結果、売上高は1,016,517千円と前年同期に比べ476,967千円（88.4%）の増収となり、営業損失は164,381千円と前年同期に比べ127,354千円の改善となりました。

(不動産事業)

不動産賃貸事業におきましては、引き続き新型コロナウイルス対策を最優先としながら、テナントの事業継続に配慮した結果、直接保有ビルの稼働率はほぼ維持できましたが、ビル管理収入は微減となりました。一方、OSビルにおける一部主要テナント退店予定区画は、後継テナントとの交渉を進めております。また、和歌山県白浜町のリゾートサテライトオフィスビル「ANCHOR」につきましては、コロナ禍で誘致活動は停滞しておりますが、感染対策を講じながらテナント間の交流イベントを企画する等、イノベーション創出の場として様々な機会を提供いたしました。

不動産販売事業におきましては、分譲住宅「ハピアガーデン宝梅一丁目（共同事業）」の最終住戸の売上並びに宅地販売（箕面市）の売上を計上いたしました。分譲マンション「プレージア住之江公園エアパレス」（大阪市住之江区）及び「ローレルスクエアOSAKA LINK」（大阪市東淀川区）につきましても、共同事業者とともに建設工事並びに販売活動を進めております。

以上の結果、売上高は1,547,792千円と前年同期に比べ56,083千円（3.5%）の減収となり、営業利益は534,759千円と前年同期に比べ9,044千円の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、前連結会計年度末と比較して総資産は1,379,174千円の増加となりました。これは主に現金及び預金858,344千円及び販売用不動産415,432千円の増加によるものであります。

負債につきましては、1,372,271千円の増加となりました。これは長期借入金1,100,580千円の減少がありましたが、主に短期借入金2,422,680千円の増加によるものであります。

純資産につきましては、6,902千円の増加となりました。これは利益剰余金9,955千円の減少がありましたが、主に自己株式の処分等による増加13,750千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年1月期の連結業績予想につきましては、2021年3月17日の決算短信で発表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,643,771	2,502,115
売掛金	244,706	257,836
販売用不動産	1,920,931	2,336,363
商品	10,585	11,346
貯蔵品	1,786	1,855
前払費用	89,994	146,987
その他	76,330	79,547
貸倒引当金	△5,250	△5,250
流動資産合計	3,982,856	5,330,802
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	19,177,468	19,382,532
減価償却累計額	△11,293,308	△11,531,795
建物及び構築物(純額)	7,884,159	7,850,736
機械装置及び運搬具	285,056	285,056
減価償却累計額	△195,668	△205,382
機械装置及び運搬具(純額)	89,387	79,673
工具、器具及び備品	724,885	827,210
減価償却累計額	△618,355	△567,456
工具、器具及び備品(純額)	106,529	259,753
土地	12,947,131	12,947,131
信託建物	597,634	604,559
減価償却累計額	△216,002	△235,130
信託建物(純額)	381,631	369,429
信託土地	1,812,608	1,812,608
建設仮勘定	129,472	—
有形固定資産合計	23,350,919	23,319,332
無形固定資産		
ソフトウェア	102,388	195,126
ソフトウェア仮勘定	25,314	—
その他	1,895	1,811
無形固定資産合計	129,598	196,937
投資その他の資産		
投資有価証券	325,407	329,793
長期前払費用	107,246	87,979
差入保証金	571,456	645,795
建設協力金	208,876	186,609
繰延税金資産	20,977	20,878
その他	49,665	8,050
投資その他の資産合計	1,283,630	1,279,107
固定資産合計	24,764,149	24,795,376
資産合計	28,747,005	30,126,179

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年7月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	138,457	155,880
短期借入金	2,810,150	5,232,830
未払金	52,081	81,187
未払費用	202,275	198,888
未払法人税等	59,479	15,671
未払消費税等	66,990	17,294
賞与引当金	24,962	27,081
その他	647,826	1,095,381
流動負債合計	4,002,223	6,824,217
固定負債		
長期借入金	9,923,420	8,822,840
長期預り保証金	1,528,135	1,205,667
繰延税金負債	865,751	824,653
再評価に係る繰延税金負債	1,674,048	1,674,048
退職給付に係る負債	410,789	425,212
固定負債合計	14,402,143	12,952,421
負債合計	18,404,367	19,776,638
純資産の部		
株主資本		
資本金	800,000	800,000
資本剰余金	66,506	66,506
利益剰余金	6,661,862	6,651,906
自己株式	△91,035	△77,285
株主資本合計	7,437,332	7,441,127
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	113,542	116,650
土地再評価差額金	2,791,763	2,791,763
その他の包括利益累計額合計	2,905,305	2,908,413
純資産合計	10,342,638	10,349,540
負債純資産合計	28,747,005	30,126,179

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年2月1日 至2020年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年2月1日 至2021年7月31日)
売上高	2,143,425	2,564,309
売上原価	1,833,639	2,154,447
売上総利益	309,786	409,862
一般管理費	426,624	385,219
営業利益又は営業損失(△)	△116,837	24,643
営業外収益		
受取利息	3,491	3,059
受取配当金	1,565	1,287
受取給付金等	11,974	13,668
その他	2,718	921
営業外収益合計	19,750	18,936
営業外費用		
支払利息	39,979	40,907
その他	3,428	3,905
営業外費用合計	43,408	44,812
経常損失(△)	△140,496	△1,232
特別利益		
補助金収入	2,000	-
特別利益合計	2,000	-
特別損失		
固定資産除却損	87	195
減損損失	37,615	-
固定資産圧縮損	2,000	-
特別損失合計	39,703	195
税金等調整前四半期純損失(△)	△178,200	△1,427
法人税、住民税及び事業税	1,359	10,601
法人税等調整額	△32,338	△42,369
法人税等合計	△30,979	△31,767
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△147,220	30,340
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△147,220	30,340

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年7月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△147,220	30,340
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△43,219	3,107
その他の包括利益合計	△43,219	3,107
四半期包括利益	△190,440	33,448
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△190,440	33,448
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、連結子会社でありましたOSフードサービス株式会社は、2021年5月7日付で清算終了したため、当第2四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染拡大による影響の収束時期等を含む仮定及び会計上の見積りについて、重要な変更はございません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2020年2月1日 至 2020年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	エンタメ・サービス事業	不動産事業	計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高					
(1) 外部顧客への 売上高	539,549	1,603,875	2,143,425	—	2,143,425
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	13,175	13,175	△13,175	—
計	539,549	1,617,051	2,156,601	△13,175	2,143,425
セグメント利益又は 損失(△)	△291,736	543,803	252,067	△368,905	△116,837

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△368,905千円には、セグメント間取引消去△1,708千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△367,197千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「エンタメ・サービス事業」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては37,615千円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2021年2月1日 至 2021年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	エンタメ・ サービス事業	不動産事業	計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高					
(1) 外部顧客への 売上高	1,016,517	1,547,792	2,564,309	—	2,564,309
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	19,889	19,889	△19,889	—
計	1,016,517	1,567,682	2,584,199	△19,889	2,564,309
セグメント利益又は 損失(△)	△164,381	534,759	370,377	△345,734	24,643

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△345,734千円には、セグメント間取引消去△6,781千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△338,952千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの変更)

第1四半期連結会計期間より、組織再編に伴い、従来「映画事業」「飲食事業」「その他事業」としていた各報告セグメントを統合し「エンタメ・サービス事業」に、「不動産賃貸・販売事業」としていた報告セグメントの名称を「不動産事業」に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。